

会派等研究研修報告書

令和6年3月20日

常滑市議会議長 様

会 派 名 新 緑 会
会派の代表者 岩崎 忍

会派等の研究研修について下記のとおり報告します。

記

- 1 期 日 令和6年2月14日（水）
- 2 視 察 先 千葉県富津市立図書館 及び 日本財団
及び
研 修 内 容 ・ 富津市立図書館について
・ 子ども第三の居場所事業について
- 3 参 加 者 岩崎 忍
- 4 日 程 常滑駅—中部国際空港—羽田空港—木更津駅—青堀駅—
富津市立図書館（イオンモール富津）
富津市立図書館（イオンモール富津）—君津駅—
東京八重洲—銀座駅—虎ノ門ヒルズ駅—
公益財団法人 日本財団
公益財団法人 日本財団—虎ノ門ヒルズ駅—東銀座駅—
羽田空港—中部国際空港—常滑駅
- 5 経費の報告 別紙のとおり

～富津市立図書館～

●概要・・・イオンモール富津3Fにあり、面積は1474.4平方メートルである。契約期間は営業開始日より10年間で賃料は月額10万円（税別）である。指定管理者制度を導入している。

●背景および経緯・・・市民から図書館を望む声は多く、常に上位を占めてきた。イオンモール株式会社からイオンモール富津内への市立図書館設置について提案があった。富津市にとっては初期導入費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては集客増や地域・社会貢献に寄与する観点から互いに利点があり、利便性も兼ね備えた施設の実現が見込まれたことから、この提案を受け入れた。

●基本コンセプト・・・気軽に立ち寄れる、出会い・学び・憩いの場としての図書館

●デザイン・・・富津岬へと続く、富津公園の緑をイメージしたエントランス。企画・展示台エリアは岬の展望台を模している。入口の上部はのこぎり山をイメージしている。

●主な質疑応答・・・①イオンモール内に図書館があることについて、デメリットはあるか。→現時点でデメリットは感じておらず、富津市にとっては最良な選択であったと考える。②予想を上回る利用状況となっている要因は何か。→商業施設内にあることで日常の生活圏に溶け込み、敷居の低い環境を実現できた点が大きな要因だと考えている。

③指定管理者制度を導入した理由は。→多様化する市民ニーズへの柔軟な対応や効率的効果的な図書館運営実現のためには、民間事業者を活用することが有益であると考えたため。④自習室はどのようにしているか。→一番静かな場所にキャレル席（個人観覧席）を設けFIX窓の設置により採光にも配慮した。

●所感・・・富津市は南北に長く、人口約4万人の都市であり、またイオンもあり、常滑市に似ていると感じた。

市民から図書館を望む声が多かった点も同じであり、富津市で実現できたイオンモール内の図書館開館を、本市でもぜひ実現してほしい。図書館を建設すれば、将来的には解体費用がかかることは必須で、次世代に負担となる。次世代への負担を減らすためにも、賃貸は非常にいいことだと考える。

パブリックコメント前の素案の段階で市民に情報を出して意見をもらったり、市民のところに向いて説明をして意見をもらったりして、その意見を計画に反映されたそうである。情報を積極的に市民に出したとのことであった。本市でも、図書館に限らず、出せる情報は積極的に出して、市民の意見を集めて市民と一緒に作っていったら、きっといいものができると思う。

～日本財団；子ども第三の居場所事業～

●概要・・・子ども第三の居場所とは、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことができる、安心して過ごせる居場所である。「安心」「食事」「生活習慣」「学習」「体験」の5つの機会を提供し、トータルな支援を行っている。保護者支援も実施している。

●背景及び経緯・・・学校外の子どもの居場所の既存事業では、手薄になっている層がある。そのため、日本財団では2016年から、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことのできる「子ども第三の居場所」の開設を始めた。2024年1月末時点において、全国に199ヶ所設置されている。内訳は常設ケアモデル51拠点、学習・生活支援41拠点、コミュニティモデル107拠点である。

●基本コンセプト・・・将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む。そのために大切にしている5つの機会①『安心』子どもの心理的な不安や小さな変化に丁寧に対応できるように手厚く職員を配置し、「ここに居ていいんだ」と思え、安心して過ごせる環境を提供。②『食事』栄養バランスのとれた食事を提供するだけでなく、調理体験や食事の準備・後片付け、皆で食卓を囲む体験を通じて、食環境の改善や習慣化、自立を目指す。

③『生活習慣』歯磨き、入浴、洗濯といった基本的な生活の「体験の機会」が失われていることがあるため、基本的な生活習慣を身に付け、更に社会性も培う。④『学習』学習につまずき悪循環に陥る前の小学校低学年から支援を実施している。教科学習だけでなく学習の前提としての学習習慣や学びの入り口として好奇心も育む。『体験』季節行事や家族旅行、習い事が限られている子どもたちに、体験活動を通してチャレンジ精神や自己肯定感、課題解決能力といった「非認知能力」を育む。

●ニュース・・・令和6年2月23日に三河で初となる子ども第三の居場所ロッキンハウスが蒲郡市に開所した。社会福祉法人楽笑が日本財団の助成金によって運営を始めた。

愛知県には既に犬山市、長久手市など5拠点ある。

●所感・・・現代は核家族化が進み、共働き世帯も多く、鍵っ子が増えている。学校が終わってから安心して過ごせる場所があるのはとてもいいことだと思う。核家族化が進み近所づきあいも希薄になってきているので、なかなか周りに相談するのが難しい。保護者への支援も行ってくれるのはありがたい。

本市は少子化もだが、高齢化も進んでいる。高齢者が第三の居場所にスタッフとして入ることで、高齢者の働く意欲にも繋がり、高齢者の居場所にもなり、また世代間交流もできるため、子どもと高齢者両方の居場所になるような拠点ができるといいと感じた。

令和5年 新緑会 視察費

	金額	備考
交通費（名鉄）	310	常滑駅から中部国際空港駅
交通費（往復航空券）	20,540	中部国際空港⇄羽田空港・・・①
交通費（高速バス）	1,250	羽田空港から木更津駅東口・・・②
交通費（JR）	240	木更津駅から青堀駅
交通費（バス）	190	青堀駅からイオンモール富津
交通費（バス）	1,600	君津駅南口からバスターミナル 東京八重洲・・・③
交通費（地下鉄）	180	東京駅から銀座駅
交通費（地下鉄）		銀座駅から虎ノ門ヒルズ駅
交通費（地下鉄）	649	虎ノ門ヒルズ駅から東銀座駅
交通費（地下鉄）		東銀座駅から羽田空港駅
交通費（名鉄）	310	中部国際空港駅から常滑駅
合計	25269	